

教育民生常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会教育民生分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／伊藤厚子
- ◆副委員長／山添和良
- ◆委員／西川英伸、山崎智之、荒川一義
桂 撤男

七尾訪問看護ステーション

主な審議内容

【議案第71号】

◆七尾市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

- 問このサービスをするにあたって、七尾市の訪問看護ステーションの看護師不足は、解消されたのか。
- 答訪問看護ステーションの看護師不足については、県の医療在宅ケア事業団が経営しており、県内の訪問看護ステーションからの人事異動により、現在、管理者、居宅介護の方も含めて、補充しており7名で運営している。
- 問看護小規模多機能は、現在七尾に存在していないが、地域においての介護に必要なようになってくる。現在七尾ではグループホーム等がたくさんあるが、現状で間に合っているからなのか、それとも必要なのか。
- 答看護小規模多機能については、能登では無い状況である。加賀方面では、数施設ある情報は、入っている。看護ということで看護師が必要となり、これまでの看護師不足が影響しているのではないかと考えている。
- 問看護師不足という状況で、現場としては、地域のこういうサービスは、今の状態では間に合っているのか。
- 答看護師不足については、能登総合病院にお願いして、これまで何度か退職される方をお願いしている。現役で退職される方は、再任用という形で病院に残り、過去に退職された方についてもお願いをしているが、高齢ということで、補充できないというのが、現状だ。
- 問入浴サービスを縮小せざるを得ないのは、緊急の場合だけということか。
- 答訪問入浴等については、看護師不足により、事業を縮小せざるを得ないという状況になっている。訪問入浴については、市内で1ヶ所だけ実施している。3ヶ月ごとに事業経営を打合せているが、この3ヶ月ごとについても先日報告を受けたが、利用人数が20名近くいて、これ以上広げることができない。新規の要望もあるが、受入れすることは不可能とのこと。利用人数20名前後は、確保していきたいとのことだが、定年を迎える看護師もいるので、今後も連絡を取り合って協議していきたい。
- 問訪問入浴というのは、看護師が必ず一人付かなければならないのか。
- 答3名で対応し、うち看護師1名が必ず付くことになっている。

【議案第72号】

財産の無償譲渡について

◆旧吉田保育園について

- 問国の補助金は、返さなくてもいいのか。
- 答はい、そうです。
- 問土地についてはどうなのか。
- 答土地は、市の所有になる。
- 問土地は、譲渡する予定はないのか。
- 答町会からは建物ということで、要望があった。土地については、引き続き市の所有ということで考えている。
- 問町会は、今回新たに利活用をしようという計画があるのか。
- 答吉田町会からの要望書は、改修して利活用したいということで、提出されている。現在の施設については、空調設備がないとか、天井が低いとか、耐震化基準前の建物ということでもあるので、解体して引き続き、高齢者、あるいは地域のための憩いの場や町会活動をする場として、新たに建てる考えもあると聞いている。
- 問その土地に建てるとなると、少なくとも20～30年はそのままとなるが、新たにそういう町会の財産をその土地に建てるということに問題はないのか。
- 答今のところは土地については、市の所有でと考えている。
- 問土地は、七尾市と町会はどういう契約になるのか。
- 答土地については、無償貸付。これまでは、建物と土地を合わせた形で町会に対しての無償貸付を毎年度していた。来年度以降は、土地だけの無償貸付の契約を結ぶ。



旧吉田保育園跡地